

# Tobu通信

鳥取県教育委員会事務局  
 東部教育局  
 〒680-0846 鳥取市扇町21番地  
 東教発 H26.3.4 No.124  
<http://www.pref.tottori.lg.jp/t-kyoiku/>

## 安心で安全、声の響き合う学校づくり ～世紀小スタンダード～



鳥取市立世紀小学校

世紀小学校は、「声が響き合い、自分の考えを伝え合う子どもの育成」を研究主題として、確かな学力と心を育む教育の推進をめざしています。『当たり前のことをみんなでする』をキーワードに、すべての学級で子どもたちを元気にして、授業の質を高めることに取り組んでいます。



### 『学級経営スタンダード』

学級づくり (夏休み明け～) 教師の構えとしての基本 →文章化 →実践 →振り返り

学級経営チェック表(学級開きの巻)

確認事項	確認
【1】児童との基本的なかわり方	
1 児童の名前を誤りなく呼ぶ	
2 ○○さん(くん)と呼ぶ、呼び合う (教師も、児童相互も)	
3 子どものよい所を見つけ、褒めるように努める	
【2】学級の組織作りとルール作り	

やる気を伸ばし、確かな学力をつけるための基盤づくり  
 学級経営の充実と授業改善

### 『授業スタンダード』

#### ○各教科に共通する授業の進め方

- ・学ぶ楽しさが味わえるめあてを示す
- ・全員が声を出す活動から始める (フラッシュカードやタブレット等の活用 →重要語句等の定着・声を出す習慣化)
- ・発問は2つに絞る
- ・自分の考えを端的に書き、ペアやグループで伝え合う
- ・全体で高め合う
- ・めあてに沿って振り返る



これを基本として『魅せる授業』をめざす。  
 「学習意欲を引き出す授業」  
 「声が響き合い、伝え合う中で深まる授業」 など

### 学校教育目標の実現



### 基盤となる学級経営

安心 安全

#### ○計画的な学級経営の共通理解・共通実践

- ・子どもの規範意識を育てるために、まず教師が手本を示す (例：時間を守る)
- ・学年で子どもに関わる→共通実践をめざす
- ・学級開きや長期休業明けを特に大切にす
- ・学級活動(1)を充実し、浸透させる
- 「自分たちで話し合い、決定し、実行する」

ルールが確立し温かい人間関係が育つと、学校は安心で安全な空気に包まれ、子どもたちは輝き始めます。子どもたちの生き生きとした発言や、自主的・積極的な活動を支えているのは学級経営です。私たち教師に求められるのは、取組に対する共通理解とともに、共通の姿勢に基づいた共通実践なのです。

## 力の源

## 局長 久岡賀代子

3. 1 1の東日本大震災から3年が経過しようとしています。自然豊かな被災地には、今もなお悲しい爪痕が残っています。しかし、希望をもち続ける日本人の強い精神力は、様々なところで「新しい日本」をつくろうという動きとなっています。そして、子どもたちと教職員たちによる復興に向けた力強い取組は、改めて鳥取県教育を考えるきっかけとなりました。これからも、震災と向き合い続けることを通して、子どもたちに未来を切り拓く力をつけていかなければなりません。

今回のソチオリンピックでは、多くの日本選手の挑戦する心を見ることができました。この姿は、私たちに生きる力や元気を与えてくれました。選手たちの力の源は、「諦めないで全てにおいて学ぼう」とする、まさに日本人の負けじ魂と人々の温かい支えだったのではないのでしょうか。

今年度も残り1ヶ月を切りました。私たちはこの1年、子どもたちの豊かな学びをめざしてきました。教育の基本は、子どもたちの学びを保障するという事です。子どもたちは、生まれてからずっと学びながら生きています。本来、子どもたちは学ぶことが好きなのです。私たち教師の使命は、子どもたちのかけがえのない今を光り輝かせることです。そのためにも、自らが学ぶ心を持ち、子どもたちの学びを支え、温かく見守りながら信頼関係を深めていくことが重要です。「子どもの話をじっくり聴く」「子どもの良さや個性を見る」という基本に立ち返り、子どもとの絆をより強くもっていただきたいと考えます。子どもたちの心に、教職員の熱い思いが届くことを願っています。



門脇小学校からのメッセージより



# K点を越えたいあなたへ ～元気いっぱい 園・学校づくりのポイント集～

**元気いっぱい 園・学校づくりのポイント集**  
～校内研修の活性化による課題解決に向けて～

鳥取県教育委員会事務局 東部教育局

東部教育局のHPにも掲載しており、ダウンロードして活用していただけます。

**園・学校づくりのポイント集**  
～校内研修の活性化による課題解決に向けて～

**目次**

序編	1
1 研修の充実に向けて	1
2 校内研修を進めるにあたって	2
3 研修の年間スケジュールと校内研修	3
4 校内研修の活性化に向けて	4
5 連携の進め方	5
<b>授業づくり編</b>	
1 子どもが主体的に学ぶ授業づくりをするために	8
(1) 単元構成をもとにした単元計画	8
① 総合的な学習の時間の例	8
② 社会科の例	9
(2) 教科科を関連させた単元構成例	12
① 社会科の例	12
② 道徳の例	13
(3) 異質な児童の理解	14
① あゆむ工夫	14
② 言語活動の充実した活動・取組例	15
(4) 互恵的な学びとするために、言語活動をどのように充実させるの？	22
2 学習指導要領のポイント（基礎力）	23
3 学習指導要領のポイント	24
4 学校独自の指導案の工夫	28
5 評価指導書の活用	28
<b>学級づくり編</b>	
1 学級づくりの基本	30
2 人間関係づくり～ルールづくり～	32
3 読書の活動（語り合うことの重要性）	34
4 新たな学習意欲を生み出す取組	36
5 いじめの早期発見・早期対応のために	38
6 学級担任が行う教育相談	40
7 学級づくりの具体的な実践例	42

**特別支援教育編**

1 特別支援教育を進めるために	46
2 支援活動のためのチェックリストの活用	48
3 どの子どもも安心して学ぶことのできる学級づくり	50
(1) 学級環境づくりを進めよう	50
(2) 支援に向けた準備方法を工夫しよう	51
(3) 個に応じた支援・配慮をしよう	52
4 ケース会議：支援会議のねらいと進め方	55
5 インポート・プロジェクトを活用した事例報告	58
6 個別の教育支援計画の作成と活用	62
7 個別の指導計画の作成と活用	62
<b>就学前教育編</b>	
1 保育参観にあたって	65
2 教材・学具を活用した研修	66
3 教材・学具を活用した研修	67
4 保育園・幼稚園から小学校教育への円滑な接続	68
5 幼児期の教育から小学校教育への円滑な接続	68
6 スタートアッププログラム作成にあたって	69
7 スタートアッププログラムの実践	70
8 スタートアッププログラムの実践	70
9 幼保小の相互理解をめざした研修	74
<b>家庭・地域編</b>	
1 学校・家庭・地域が一体となって子どもを育てよう	76
(1) 学校・家庭・地域の連携、場内の事例	76
(2) 「学校支援ボランティア」について	77
2 魅力ある保護者会・保護者会の進め方	79
(1) 進め方の準備	79
(2) 「参加型保護者会」の流れと活動内容	80
<b>資料編</b>	
1 校内研修に取り入れるためのポイント	84
2 若い教師誌	108
3 実践者の視点から	108
4 魅力ある保護者会や保護者会にするために	108
5 コンプライアンス事例研修	110

- Q1 移行支援会議はどう進めるの？
- Q2 スタートアッププログラムを作りたい。
- Q3 めあての工夫や言語活動の充実について知りたい。
- Q4 魅力ある保護者会にしたい。
- Q5 コンプライアンスの研修をするには？
- Q6 学級開きのポイントは？

各園・学校のこれまでの取組の中から、すばらしい実践やがんばりを伝えたいという思いを込めて編集しました。このポイント集を、「自らを振り返る鏡」として、教師としての**飛距離**を伸ばしてください。



## 社会教育コーナー 地域ぐるみで子どもを育てる体制づくりをめざして ～学校の応援団「学校支援ボランティア」の取組より～

「地域で育む学校支援ボランティア事業」は3年目を迎えました。この事業の活用校は、学校と地域をつなぐパイプ役のコーディネーターと連携をとりながら様々な取組を行っています。学校の応援団「学校支援ボランティア」の取組から、参考にしたいポイントを紹介しします。

### ポイントその1：地域との信頼関係を築く

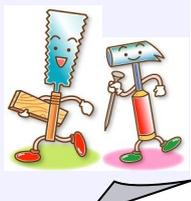
公民館事業等、子どもたちが参加する地域の行事に教職員も参加して、一緒に活動する中で地域の方との懇親を深め、信頼関係を築いている。

### ポイントその2：学校の受け入れ体制を万全にする

実践ハンドブックを活用して校内研修を行い、学校支援ボランティアの趣旨や支援の内容、メリット等を教職員が共通理解した上で、各学年の学校支援の年間計画を立てたり、ボランティアの方を受け入れるための環境を整えたりしている。

### ポイントその3：支援の場面を明確にする

子どもの体験活動において、安全面や技能面等への支援により、子どもが安心して学習できている。  
※体育科の「マット運動、鉄棒運動、跳び箱運動」や図画工作科の「のこぎり、きり、釘、げんのう、彫刻刀を用いた活動」等、学校の実態に合わせて様々な支援の場面が考えられます。

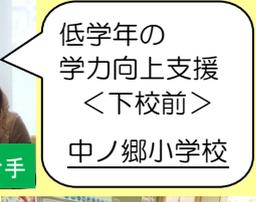


## すてきな一コマ

低学年の  
学力向上支援  
＜5校時前＞  
浜村小学校



低学年の  
学力向上支援  
＜下校前＞  
中ノ郷小学校



家庭科（5年）  
学習支援  
「調理実習」  
湖山西小学校



学校支援ボランティアを通して、学校は家庭や地域とより密につながることができます。学校と地域がより豊かに支え合う関係になるように、日頃から地域とのつながりを大切にし、教職員自身も「地域の未来を担っている」という使命感をもって子どもたちと関わっていききたいものです。